

地域連携・医療福祉相談室だより

新年のご挨拶



京都通信病院 院長
兼地域連携・医療福祉相談室室長 吉岡 秀幸

新年明けましておめでとうございます。

本年も皆様にとりまして希望に満ちた良い年となりますようお祈り申し上げます。

昨年より、COVID-19 で全世界が翻弄され、日本の医療界も振り回されている状況で、京都も例外ではない現状です。さらに COVID-19 感染による他の急性慢性疾患治療への影響が言及されています。

私の専門領域でもある炎症性腸疾患 (IBD) 患者が COVID-19 に罹患しやすいというデータは現在のところありませんが、IBD 患者は病院や公共のトイレ等ウイルスが持ち込まれやすい場所を利用する機会が多く、標準予防策・接触予防策を十分行うことが重要となります。COVID-19 感染により、重症化しやすいというデータもありませんが、生物学的製剤や免疫抑制剤等は他の既存ウイルス感染症の重症化リスクを増大させるので、COVID-19 感染に関しても注意が必要です。その為 IBD 治療継続に不安が生じる場合がありますが、治療が不十分になると、腸炎が悪化することによる全身状態の悪化や IBD への免疫抑制治療強化による COVID-19 感染症の重症化リスクが高くなり、COVID-19 に感染していない限り現在の IBD 治療の継続が推奨されます。どの疾患治療にも言えることですが、「正しく恐れて地域医療を行う」ことが大切だと痛感します。

当院では、京都大学医学部附属病院の関連医療機関として、コロナ禍の今を乗り越えるべく、患者様第一の医療を目指し、職員一同一致団結し地域の医療機関及び関連諸機関と連携を密にし、地域の期待にお応えしてまいりたいと考えております。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



吉岡 秀幸 院長

外来診療・検査事前予約

当院では、患者さまに待ち時間を短くスムーズに診療・検査を受けていただけるよう予約をお受けしています。

1. 診療・検査依頼書 (FAX 送信票) に記入の上、地域医療連携室まで FAX してください。
2. 時間等調節後、折り返し 診療・検査予約票を FAX にてお送りします。
3. 患者さまにお渡しいただくもの: 予約票、診療情報提供書 (紹介状)、検査データ CD-R 等
4. 来院時患者さんに持参いただくもの: 予約票、診療情報提供書 (紹介状)、検査データ CD-R 等、健康保険証、医療券等、お薬手帳、診察券 (以前受診されたことのある方)



※診療・検査依頼書は、京都通信病院のホームページからもダウンロードできます。

ご利用ください。 <http://www.hospital.japanpost.jp/kyoto/>